

↓要救助者を救出するためがれきを撤去する参加者



**地域の安全は自ら守る
郷市区自主防災会総合防災訓練**

9月10日に、郷市区自主防災会総合防災訓練が実施され、区民等約140人が参加しました。参加者は、救護部等7つの活動部に分かれ、大雨による河川の氾濫を想定した訓練に取り組みました。また、大地震により、火災の発生や倒壊した家屋に住民が閉じ込められた想定で、消火活動や要救助者の救出訓練が実施されました。

↓激しくボールを奪い合う選手たち



**ラグビーを通じて町を元気に
山口良治杯美浜町少年ラグビー大会**

8月27日に、第7回山口良治杯美浜町少年ラグビー大会が総合運動公園運動場で開催されました。本大会は、美浜町出身の山口良治さんが、青年育成や地域貢献等を目的に開催しているもので、県内外から24チームが出場しました。選手たちは、ゴールポストが設置された本格的なフィールドではつらつとしたプレーを繰り広げていました。

↓講演する五十嵐裕子氏(中央)と講演を盛り上げたJETSの皆さん



**笑顔の力 夢見る力～JETS全米制覇の奇跡～
JETS顧問五十嵐氏講演会**

8月24日に、県立福井商業高校チアリーダー部JETS顧問の五十嵐裕子氏による講演会がなびあすで開催され、約360人が来場しました。この講演会は、美浜町老人クラブ連合会が世代間交流を目的に開催したもので、五十嵐氏は「夢を叶えるときは感謝の気持ちが溢れてくる」と全米制覇を成し遂げた実体験を交えて話されていました。

↓美浜町文化協会の展示を鑑賞する来場者



**県内の選抜作品が一室に
第42回福井県市町文協選抜美術展**

9月8日から10日にかけて、第42回福井県市町文協選抜美術展が総合体育館で行われました。この美術展は、(一社)福井県文化協議会と県内の16市町にある文化協会(協議会)が毎年開催しているもので、美浜町での開催は15年ぶりとなりました。会場には、各文化協会から選抜された絵画や書道、写真等の作品が並び、来場者は芸術を肌で感じていました。

↓的に向かって放水する参加者



**災害に備えて地域力を向上
美浜地区自衛消防隊操法大会**

8月27日に、第25回美浜地区自衛消防隊操法大会が美浜消防署消防訓練場で4年ぶりに行われました。本大会は、地域や職域のチームに分かれ、火災発生を想定して消火栓の操法技術を競うものです。出場した17チームの隊員は、迅速な消火の技術を披露し、日頃の練習の成果を発揮していました。大会結果は次のとおりです。(関連第27頁)

	地域の部(7チーム参加)	職域の部(10チーム参加)
優勝	山上区 山上自衛消防隊	関西電力株式会社原子力事業本部 関西電力株式会社 原子力事業本部自衛消防隊
準優勝	日向区 日向自主防災会	(株)カモコン (株)カモコンチーム
3位	けやき台区 けやき台区Bチーム	美浜町議会 美浜町議会チーム
特別賞	佐柿区 佐柿国吉自衛消防隊	美浜町社会福祉協議会 美浜町社協チーム

↓ステージを盛り上げたK'z Heaven



**美浜の夏の一大イベント
夏フェスタ美浜2023**

8月19日に、夏フェスタ美浜2023が総合運動公園で開催されました。会場では、バンドやダンス等のステージ発表や屋外シアター、人力車、スラックライン、ふわふわドーム、屋台やキッチンカーの出店等が行われました。ファイナーレには、打上花火が美浜の夜空を彩り、訪れた観客から歓声があがっていました。

↓赤ちゃんの出世披露



**海上安全と豊漁を祈願
日向 八朔祭**

9月3日に、八朔祭が稲荷神社隣の沖波止広場で4年ぶりに行われました。この祭りは、海上安全と豊漁を祈願するもので、太鼓の奉納等、さまざまな神事が執り行われました。午後には、奉納相撲が行われ、青年相撲や子ども相撲、相撲甚句が祭りを盛り上げ、土俵の土を踏んだ4人の赤ちゃん力士の健やかな成長を祈願しました。

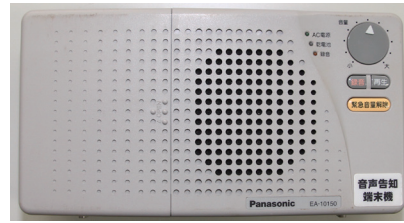


まちウォッチング
atching

北・南・耳地区の旧音声告知受信端末機の回収について(無償)

町では、北地区・南地区・耳地区の使用しなくなった旧音声告知受信端末機の一斉回収を実施します。

町が委託する撤去業者が、令和6年3月までの間に順次撤去・回収作業に伺いますので、業者より連絡があるまでお待ちくださいようお願いいたします。



↑撤去・回収する旧音声告知受信端末機

■撤去・回収時期と内容

対象地区	時期	内容 ※下記以外の作業は、無償で行うことはできません。
北地区 南地区 耳地区	10月～ 令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> 旧音声告知受信端末機 【希望者のみ】旧音声告知受信端末機用同軸ケーブル 【希望者のみ】旧インターネットケーブルモデム用同軸ケーブル <p>※同軸ケーブル(黒いケーブル)は、加入者の所有物であるため、希望者のみ撤去します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁裏配線の場合→壁から出ている部分を撤去(図1) 露出配線の場合→同軸ケーブルのみで配線されている部分までを撤去(図2) <p>※旧音声告知受信端末を同一世帯で2台所有されている方は、2台目も対象になりますので、お持ちの方は撤去業者にお申し出ください。</p>

■撤去・回収の流れ

- STEP 1 撤去業者より対象宅に電話連絡
作業訪問日の確認
- STEP 2 約束した日程に訪問
撤去・回収作業を実施
- STEP 3 作業終了
立合者に確認してもらい完了

※業者が直接金銭等を請求することはありませんので、不審な連絡や訪問者にはご注意ください。
※撤去業者のリストは、今後、広報やホームページ等でお知らせします。

■撤去の範囲(赤字部分)

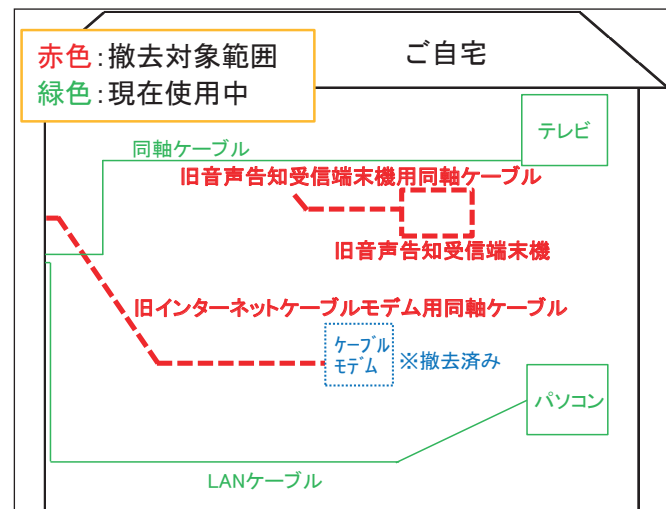


図1(壁裏配線の場合)

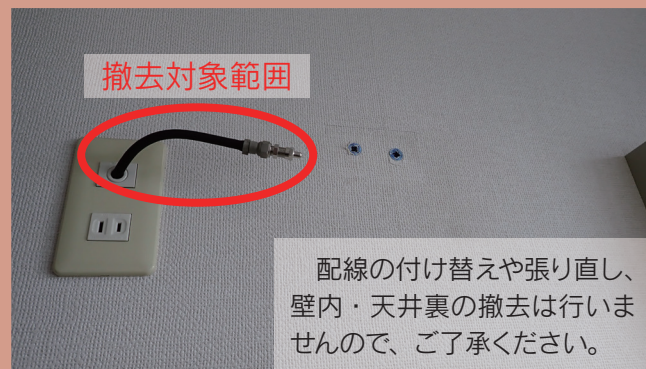
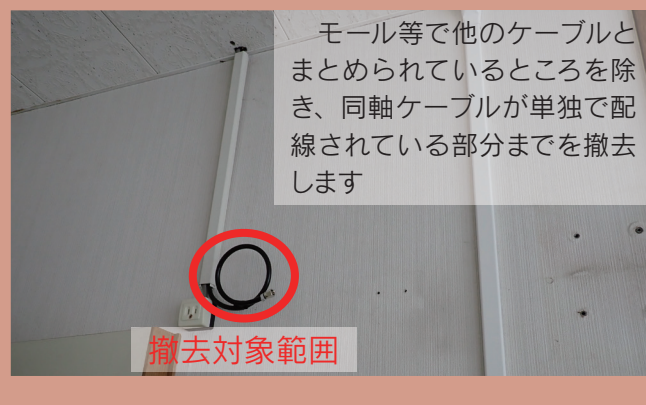


図2(露出配線の場合)



みはまシナプスプロジェクト

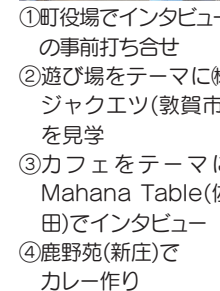
～子どもと大人が交わるまちづくり～

交わり つながり ひらめく
みはまシナプスプロジェクト

町民や応援人口、美浜に関わりたいと思ってくれる人、企業等とのつながりから生まれるアイデアを起点に、多くのにぎわいが創出され、これらのつながりが町に成長をもたらします。これが、みはまシナプスプロジェクトに込められた思いです。

町の中に「交わり、つながり、ひらめく」がいくつも生まれる機会や場をつくっていくことが、このプロジェクトの面白さであり役割だと考えています。

まずは、子どもから大人までの幅広い世代が交わり、つながる楽しみを体感し、その交わりの中で新たな発見や価値観に出会う場をたくさん作っていきます。その楽しみを積み重ねが町ににぎわいを生み出し、最終的には町全体の活性化につながる取り組みを目指します。



現在進行中!
みんなでまちづくりプロジェクト

みんなでまちづくりプロジェクトは、みはまシナプスプロジェクトの実践の場で、福井大学の「みはまむすびめ」を中心に、町民協力のもと、子どもたちが探究活動や体験を通して、町への愛着を育むプロジェクトです。

参加対象は、町内の小学生・6年生や中学生、高校生で、参加者自らが町の課題や魅力を調査し、大人たちと関わりながら課題解決のアクションを起こすことで、美浜町をもっと好きになってもらうことを目的としています。

8月9日・10日には、町内の小学5・6年生や美方高校生が集まり、インタビュー調査と宿泊体験を行いました。

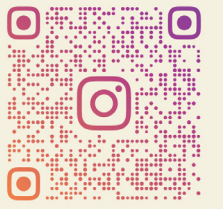
参加者からは、現場を訪れてインタビューができたこと、楽しさや美浜にこんないいところがあるんだという驚きの声が聞かれる。今回は、10月15日に開催を予定していますので、お気軽にご参加ください。

みはま むすびめ

活動紹介



みはま むすびめは、福井大学国際地域学部3年生の5人で結成された団体です。
令和4年6月から美浜のにぎわいづくりに携わり、町内のイベントへの参加やSNSでの情報発信の他、今年度からは「みんなでまちづくりプロジェクト」の運営を行っています。
美浜の人と人をつなぐ「むすびめ」になることを目指して活動していますので、町で見かけたら、ぜひ声をかけてください。



@GROUP_F_MIHAMA

※お問い合わせ先 町エネルギー政策課(担当・橋本) ☎ 32-6716

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・山本) ☎ 32-6701

美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和4年9月26日～)

全国原子力発電所 所在市町村協議会が 国に対して要請活動を実施

8月22日に、全国の原子力発電所及び関連施設等が立地する市町村で構成される「全国原子力発電所所在市町村協議会（会長：米澤敦賀市長）が、経済産業省や環境省、国土交通省等に対して要請活動を行いました。

要請活動には、高木毅衆議院議員同行のもと、協議会副会長の戸嶋町長や役員が出席し、エネルギー政策における原子力発電の最大限の活用や核燃料サイクルの早期具体化等を求める要請書を提出しました。

①安全規制・防災対策について
福島第一原子力発電所事故の教訓や最新の知見を踏まえ、原子力施設の安全性及び原子力防災対策の実効性の向上に不断に取り組むとともに、迅速な住民避難に不可欠なインフラの整備・強化について、国の責務として財源を確保し、関係省庁が一体となって取り組むこと。

②被災地の復興について
福島第一原子力発電所事故の被災地が復興・再生を果たすまで、国が責任をもって被災地に寄り添った取り組みを継続し、被災地が望む復興

③原子力政策について
像を実現すること。
エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向け「GX実現に向けた基本方針」等で示した原子力利用に係る取り組みを早期に具体化すること。

④立地地域対策について
エネルギー政策上の原子力発電の意義を理解し、協力してきた立地地域の持続的かつ自立的な発展が図られるよう、振興に資する諸制度について改善・拡充を図ること。

要請書の提出後、関係省庁と意見交換が行われ、戸嶋町長が次のとおり意見を述べました。

ウクライナ情勢や北朝鮮のミサイル発射等による緊張が高まる中で、安全安心の最大限の確保が我々立地にとつての喫緊の課題である。その上で、まさかの時に被害を最小限に抑える避難道路の多重化・強化が重要であると考えているため、地域の実情を勘案し、国の責務として安全安心の最大限の確保に尽力いただきたい。



↑意見を述べる戸嶋町長(左手前から3番目)



↑協議会役員による要請書の提出

今回の要請を受け、国からは「避難道路の重要性については重々認識しており、関係省庁と連携してしっかりと推進できるように取り組む」と前向きで力強い回答をいただいております。

町では、今後も協議会と連携しながら、原子力発電を取り巻く課題や問題に取り組んでいきます。



今秋から2隻体制へ 電池推進遊覧船「Grebe」就航式

お問い合わせ先
町観光誘客課(担当:中瀬)
☎32-6705



↑テープカットをする出席者

8月26日に、美浜町レイクセンターで2隻目となる電池推進遊覧船「Grebe」の就航式を行いました。

Grebeは、船体の大きさが全長18m、幅3.8m、全高2.5mで1隻目のCootと全長・幅は同じで、外観は赤色を採用しています。

船内は、固定式の椅子を備え、柱をなくしたほか、船前方に開閉可能な小窓を設置して、外気を取り入れながら三方五湖遊覧を楽しむことができます。



↑ Grebeの船内

割引一覧(併用不可)

▼町民割
美浜若狭町民は乗船料が半額
大人・1,980円→980円
小人・990円→495円

▼団体割
10名以上の団体に乗船料を1割引き

▼宿泊割
詳細は、美浜町レイクセンターまでお問い合わせください。

今後、久々子湖や水月湖での運航訓練を行い、10月からは2隻体制で営業を行う予定です。

なお、美浜町レイクセンターでは、乗船料の各種割引を行っています。

割引の内容は次のとおりです。



いざ災害！その時どうする？ 北西郷公民館 ふでやま防災講座

お問い合わせ先
町北西郷公民館(担当:高木)
☎32-0317



↑初期消火体験

9月9日に、北西郷公民館で北西郷公民館ふでやま防災講座を開催しました。

同講座は、防災全般に関する地域の総合力(自助・共助、地区の連携・協働)を高めることを目的とし、災害に関する基礎知識や対処方法等を体験・学習しました。

講師は、町の防災担当職員や美浜消防署員が務め、座学と体験学習を行いました。

座学では、防災ハンドブックや津波ハザードマップを用いた説明が行われた他、災害時の避難行動や避難所の設置について説明がありました。



↑煙体験ハウスでの避難体験



↑非常用持出袋の中身の説明

体験学習では、北西郷地区の地区避難所である北西郷公民館に配備されている備蓄品の説明や初期消火体験、煙体験ハウスで煙が立ち込める中での避難体験等が行われました。

参加者約30名は、講座を通して、いざという時の災害に備えていました。